

# 第4回・第5回 町長と語る会「お気楽トーク」

町では、住民参加のまちづくりを目的に、町長と町民のみならずが気軽な雰囲気の中で、コミュニケーションを取ることが出来る場、町長と語る会「お気楽トーク」を実施しています。

第4回目を1月28日（水）に日高中央漁業協同組合職員・組合員11名と、第5回目を2月10日（火）にえりも漁業協同組合職員・組合員15名と開催し、漁業のいまとこれからについて考えました。

町では、町長と語る会「お気楽トーク」の開催を希望する団体・グループ（5名以上）を募集しています。詳細につきましては、企画調整課広報広聴係（TEL:36-2122）までお問い合わせください。

## はじめに

**町長** 今回は類似町の主産業である漁業者のみならず「お気楽トーク」の場を持たせていただいたことに感謝を申し上げます。海の状態が変化している中で、水産業として継続し、次の世代に繋げていくためにはどうしなければならぬのか、たくさんのご意見をいただければと思います。

## それぞれの漁模様

### 日高中央漁業協同組合

**組合員** 昆布は、赤潮から2年、3年と経ち、1年おきではありますが、漁獲量も増えてきて、それに合わせて値段も良くなってきていると思います。最近、陸回りさん（手伝ってくれる人たち）が少なくなってきたので、採りたくても採れないという人がたくさんいるので、そこを考えていた

だけばと思います。

**町長** 町でも昆布拾いやいちごの収穫など一部の産業において職員の副業を許可していますが、まだまだ少ない状況です。今後も希望があれば、対応をしていきたいと思っています。

**組合員** 真ツブは、これからあと何年かかるのかという、不安を持っています。当初から、資源が回復するためには8年、10年かかると言われているので、国の対策が打ち切られる中で今後も町への協力をお願いできればと思っています。

**町長** 金銭的なものをすべてというのはなかなか難しいかと思いますが、できるかぎりのことは進めていきたいと思っています。

### えりも漁業協同組合

**職員** 「昆布は売れないから拾うな」という時期も経験しましたが、今はその昆布の値段が高くなって組合の水揚げの底上げをしている状況。いろいろな魚種がありますが、えりも

漁協の基本となる部分は、やはり昆布だと思っています。しかし、その昆布も最近が良い・悪いの波が大きくなっていると思います。

北海道大学の昆布の先生から「漁場造成もやった方がいい」と言われているので、その事業に手をかけようと思っています。

**組合員** ウニは、赤潮の時に比べると回復してきています。今年くらいには採れたらいいなと思っています。

**組合員** ナマコも赤潮の時に比べたら回復していると思います。

**組合員** タコは、ミズダコは良くなってきていますが、ヤナギダコはまだダメですね。

## 昆布の漁場造成について

**町長** 昆布の漁場造成についてはどうですか？

### 日高中央漁業協同組合

が一番いいとしてやってきているのかなと思います。

**職員** 協同組合の中でも採取の方法は何種類があります。10年以上前に浦河のどこかで、昆布の生産効率を上げるため、鎌や潜水士の事業を試験的にやったことがありますが、非常に効率が悪く、そのまま立ち消えになり、今の方法になっています。

**職員** 今の方法が一番効率がいいのではないかと思っていますが、これからどんな人が少なくなるというのであれば、採り方を考えていかなければならない時が来るかもしれません。今はまだそういう雰囲気ではないのかなと思います。



日高中央漁業協同組合

**組合員** 雑海藻駆除をすれば次の年は付きます。雑海藻駆除自体は毎年行われていますが、順番で場所を変えているので、毎年同じ場所が駆除されているわけではありません。漁場造成で投石したからん岩があまりよくないので、付いてはいますが採るようなものではないです。

**組合員** 水温が高いからか、昆布より雑草の方が先に育っている。夏になったら昆布の胞子をまいていますが、着生できていないものもあるようです。

**職員** 雑海藻駆除の予算が足りなくて、やれる場所がさがられている状況。道や町に補助してもらっていますが、それ以外にも予算を付けてもらえれば。

**町長** 検討させていただきま

### えりも漁業協同組合

**組合員** 今現在は雑海藻駆除と自分たちで浜から石を拾ってき、あまりついていないようなところ、邪魔にならないような場所に入れていきます。実際付いている場所もあり、それがどの



くらいの量になるかはわからないけれど、少しでも水揚げできればと考えています。

**組合員** 今一番恐れているのは、海水温上昇の影響により水昆布

が抜けてしまうこと。製品になる前に抜けて、次の水昆布が成長した頃にまた抜けて、を繰り返している場所も何か所かあると聞いています。

**職員** 陸上で石に昆布を生やしてか海に入れるというのを、小規模な試験的にですが、やってみようと思っています。

## 昆布漁の機械化について

**町長** 労働の負担軽減を考えて、昆布漁の機械化というのは難しいものですか？

### えりも漁業協同組合

**職員** 漁法を変えればできるのかもしれませんが、資源を保護することや管理することを考えて、今の漁法



陸上養殖について

**町長** 様似町の水産業を維持するための方策として、育てる漁業が必要だと考えています。養殖事業のノウハウを蓄積することや、様似の海の状態や環境に何が合うのかを考えるために、町では昨年から勉強会を進めていますので、現状を報告します。

**産業課長** 今年度3回ほど陸上養殖の勉強会を実施させていただきました。現段階で陸上養殖施設を整備するのに想定している場所は、港町にある旧ソビラ荘で、水槽に入れた海水を捨てずに、ろ過して循環させる方法を考えています。魚種については、病気に比較的強く、育ててから出荷するまでが短期間であるバナメイエビと、種苗を育てて、放流するのが漁業への好影響と考えられるバナメイエビの2つを候補として考えています。ウニの場合は昆布への影響もあるのですが、本当に放流する際は調整もしていかなければならないと考えています。完全養殖とするのか、



中間育成で放流するのかというのでも決められています。来年度も続けられるのであれば、もう一度勉強会を実施・内容を検討し、令和9年度から試験養殖施設を整備していければと思っています。

日高中央漁業協同組合

**組合員** 昆布への影響については、放流する場所設定をすればいいのではないだろうか。今はだいたい決まっているところにだけウニの種苗をまいているけれど、どんどんまいてもらって構わない。

えりも漁業協同組合

**組合員** 誰が経営するのかやお金はどうやって出すのか、またエビなんかは外国の方が安く仕入れられると思いますが、どこに売るのがいいか。もう少し先の話を聞きたい。  
**産業課長** 誰が経営するのかについては、基本的に町がやっても仕方ないので、漁業の関係団体や漁業者などに携わっていただきながら、漁業者の収入補填になればと思っていますが、その体制がまだ作り出せていません。バナメイエビは外国の方が安いということもありますし、採算が合うのかということもありますが、まずは試験

をやってみたい。様似でできるのかということをやってみたい。来年度も勉強会を続けていきたいと思っていますので、内容を精査して目的が付いた上で、試験等をスタートしたいと思っています。



施設の利用について

日高中央漁業協同組合

**職員** 今年度、様似支所の製氷施設が完成しますので、旧施設の跡地の利用方法について、解体してしまっただ方がよいのか、例えば、避難施設などに有効利用できるか、検討していただければと思います。  
**町長** 特にあの辺りは作業して

いる漁師さんや近くに住んでいる方もいますから、避難施設としての活用ができれば、とてもいいかなと思います。施設がそのまま使えるのか、それを壊して施設を建てるのか、検討させてください。  
**組合員** 鵜苫の港も何かに利用できないだろうか。

日高中央漁業協同組合

**町長** 去年、室蘭の北海道立栽培水産試験場で、鵜苫のような使っていない港の中で、ウニを養殖したらどうかという話を聞きました。全道的に使われていない第一種漁港（利用範囲を主に地元の漁業とする港）が多いので、そういうところを活用して、港の中で養殖事業をやるといような動きが出てくるようです。  
**職員** 養殖をするにしても、青潮の問題や酸素濃度が低いというようなこともあるので、漁港の整備をすることが必要になると思います。

えたらいいですね。  
**町長** スクールランチに鮭をもったり、お米は様似産のアポイ米を提供しています。魚の方も上手く流通させて、子どもたちに食べてもらえるよう考えていきたいと思っています。

えりも漁業協同組合



**組合員** 私自身はいないわけじゃないが、後継者は考えていない。漁師という仕事が好きだから、健康なうちは死ぬまでやりたいと思っています。

後継者について

**産業課長** みなさんもご回答いただいたかと思いますが、去年の6月から7月の間で後継者に関するアンケートを実施しました。回答は様似支所・冬島支所全体で43%程度です。「後継者がいますか」の問いに「いない」と回答したかたが様似地区全

体で81%。また、「後継者を探したい」と思っていますか」の問いにも73%のかたが「探したくない」と回答しています。どの地区でも今の漁業の厳しい状況から、なかなか後継者について考えられず「自分の代だけがいい」というかたが多いのかなと推察しています。

えりも漁業協同組合

**組合員** 私には息子はいませんが、後は継がないと話しています。今の漁業が将来的にどうなるかわからないというのがあると思います。ホタテなど単価の高いものもあります。最近魚が安い。やれる商売はあるけれど、単価が安くて採算が合わない。それがなかなかなのであれば。  
**組合員** 魚を食べる人が少なくなってきたから、どうしても安くなりますよ。  
**組合員** 普段あまり魚を食べない子どもたちに食べてもらいたい。様似で獲れるものを食べて、「魚って美味しいんだ」とわかってもら



おわりに

**町長** 課題もたくさんありますが、様似町は漁業が主産業の町なので、今後もしっかりと取り組みをさせていただきます。本日は貴重なご意見をありがとうございました！

最後に記念撮影！みなさまありがとうございました！



えりも漁業協同組合 職員・組合員さま



日高中漁業協同組合 職員・組合員さま



えりも漁業協同組合